役員交流会 参加者アンケート 要約

回答者：17 名

1. 分かち合いについて

- 対面で直接意見交換できたことがよかった、苦労や課題を共有・共感し合うことで励みになったという声が多く挙げられた。
- 3 分以内の発言制限などのルールが好意的に受け止められ、話の整理や前向きな対話につながったとされる。
- テーマは抽象度が高く難しかったとの意見がある一方、捉え方の違いや分かち合いの広がりに深みを感じた参加者もいた。
- 実際に多くのグループで中心となった話題は外国人信徒の対応・共生、高齢化と若年層の減少であった。
- ベトナムなど外国出身の信者が増える中、「お客さま」にとどまらず共同体の一員としてどのように関わり合えるか、 信者の高齢化に伴う参加の困難さや、若者（50 代含む）が教会から足が遠のいている現状への危機感・悩みが共有された。

2. 開催時間および運営面について

開催時間　ちょうどよい…70.6%　長い…23.5%　短い…5.9%

「長い」と感じられた理由

テーマの難しさから愚痴や待ち時間が増えたと感じられた点や、個人の分かち合いに終始しがちで「交流」というより「研修」のような印象を受けた点が挙げられている。

改善に向けた要望・提案:

- 「困りごとについて各教会の実践を通した具体的な工夫を知りたい」「各グループのまとめ資料を配布してほしい」といった、現場で役立つ情報共有の場を求める意見が出された。
- 遠方からの参加者に対する配慮（移動時間や体力的な負担）も指摘されている。

3. その他自由意見（各教会の現状と今後の課題が出された）

小教区運営の限界

小規模な教会を高齢層（70 代等）のみで維持することの難しさや人手不足が指摘され、将来的な教会の合同の可能性もあると感じるという思いが共有された。

地域との関わり・福音宣教の模索

- 葬儀ミサを通じた信者でない遺族への関わり（福音宣教）の重要性や、ミサ前の挨拶、自由参加のお茶会など、コミュニティ構築に向けた取り組みが共有された。
- 信徒参加の入門講座など、ミサ以外で地域や家族を呼び込める接点づくりが求められている。

4. 次回（2027 年）に向けた希望

- 継続開催や学び・気づきの場としての共有を望む声が多くみられた。
- 役員の交代周期に合わせた早めの参加推奨や、連休期間を避けた日程調整などの要望が提示されている。